

中里北部地区社協だより



第50号

平成27年2月18日 発行責任者 竹内 英臣

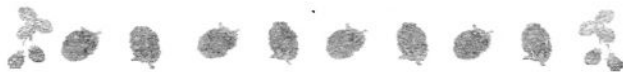
年末助け合い募金



平成26年の年末助け合い募金には、中里北部地区の皆様の心温まる善意の募金を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

特に、各町内会・自治会役員の皆様には、ご尽力いただきました事を深く感謝申し上げます。

おかげ様で右記のとおり多額の募金を頂戴いたしました事は、皆様の社会福祉に対する深いご理解とご協力の賜物と思います。ご協力ありがとうございます。



(1月15日現在)

町内会・自治会名	募金額(円)
たちばな台町内会	298,861
たちばな台西自治会	60,800
たちばな台東自治会	14,000
たちばな台緑自治会	7,400
寺家町内会	36,100
鴨志田緑自治会	107,700
鴨志田町内会	237,788
グリーンヒル鴨志田東団地自治会	25,650
グリーンヒル鴨志田西団地自治会	65,900
グリーンヒル鴨志田中央団地自治会	0
横浜市営鴨志田住宅自治会	19,600
たちばな台ガーデンハウス自治会	8,000
合 計	881,799

☆ 中里北部地区「社協だより」50号を祝う ☆



中里北部地区社会福祉協議会会長 竹内 英臣



広報紙「社協だより」が平成5年の第1号発行から22年で第50号を発行できましたことを心より嬉しく思います。これもひとえに諸先輩方のご努力と地域の皆様方の温いご支援とご協力の賜物であり、心よりお礼申し上げます。

中里北部地区社会福祉協議会は、福祉に関するさまざまな問題を地域全体の問題としてとらえて、皆で考え話し合い、協力して行動して解決を図ることを目的として活動に取り組んできました。そして活動を通じて誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていける「福祉のまちづくり」を目指しています。これの実現のためには、地域の皆さんがお互いに支えあい、心を触れ合うことが大切です。

地区社協では現在、高齢者を対象とした「すこやかお食事会」や若いお母さん方を対象にした「子育てふれあいサロン」、さらには多くの皆さんが交流できる「お花見の会」や「バスツアー」などを実施していますが、福祉問題についてはまだまだ取り組まなくてはならないことが山積しています。

これからも、できるだけ多くの皆さんが参加でき、地域の人々の絆がひろがり「ここに住んで良かった」と感じていただける活動に取り組んで行きたいと思います。今後とも皆様方の心強いお力添えをいただきたく、よろしくお願い申し上げます。



鴨志田緑小学校地域防災拠点の防災訓練

阪神大震災から20年、この震災を契機に住民自身による「自助」や地域・近所住民による「共助」の防災認識が高まり、公助を担う青葉区は、41小・中学校等を地域防災拠点（震災時避難場所）に指定し、資機材・食料及び簡易トイレ等の備蓄を進め、無線電話や安否確認用の特設公衆電話機等のハード面の配備を充実させています。緑小防災拠点は地域の自治会からの委員、学校関係者及び事務局7名が加わった約40名が主メンバーですが、震災時にはボランティアが加わり避難者と共同で避難所の運営を行います。この避難所に加え緑小には震度6弱以上の場合に、医師・歯科医師や薬剤師等からなる診療拠点が開設されます。

緑小防災拠点の平時の主たる活動は震災時を想定した避難訓練であり、緑小・鴨志田中との合同避難訓練には毎年600名余が参加し、飲料水の確保や炊出し等の訓練テーマを設けて実施しています。平成26年度は小中学生による、おにぎり・ポテトサラダ・スパゲッティの炊出し訓練も行い、新しい取り組みとして民生委員、拠点救護班及びボランティアの混成チームが、予め登録された要援護者宅を訪問して安否確認する訓練も実施しました。



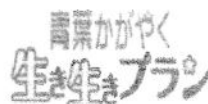
27年度防災訓練は8月29日（土）に、校庭脇に新たに敷設される下水道直結型トイレ4基を使った訓練も予定しております。防災拠点の備蓄品や設備等のハード面は徐々に整備されておりますが、避難所を運営する人材は十分でなく、ソフト面での充実が求められています。

住民の皆様も年1度の防災訓練に参加頂くと共に、防災拠点へのボランティア登録にも協力頂けます様お願い致します。



（鴨志田緑小学校地域防災拠点事務局長 三輪 恒巳）

ちょっとしたボランティア「ちょこボラ」活動中！



「青葉かがやく生き生きプラン」の活動の1つとして、中里北部地区の連合町内会や社会福祉協議会、関係団体、ボランティアなどが協働して取り組んでいる「ちょこボラ活動」を紹介します。

「ちょこボラの活動とは」

声をかけあい、支えあいながら、安心して暮らせる町づくりを目指して介護保険や医療制度などで補えない、生活上の困りごとを解決できるように、地域の方でお手伝いをする活動です。まずはお問い合わせください。

「内 容」

ゴミ出し、庭や玄関先の掃除、草とり等を出来る範囲で行ないます。（30分ほどで出来ること）

<活動状況> (平成26年4月1日～27年1月20日 現在)

活動回数 42回

主な活動依頼内容 ゴミ出し、草とり、家具の移動、庭木の水やり、
カーテンの取り外し、玄関先の掃除など

時間・費用 30分程度 ・ 1回 ～300円

(人数と内容により事前にご相談させていただきます) **緑のベストが目印です**

その他 ボランティア会議を年4回行なっています。また活動に関連する研修
「電気のみめ知識」をテーマに行ないました。

※ボランティアを毎年募集しておりますので、気軽にお問合わせください。

○▼○お問い合わせ○▼○

横浜市鴨志田地域ケアプラザ 横浜市青葉区鴨志田町547-3

TEL 961-6911



[P1]

日帰りバスツアー



社協恒例の日帰りバスツアーが12月2日(火)に、44名が参加して行われました。

「四季の家」前を7時10分出発したバスは、群馬舞茸センター、伊香保おもちゃと人形・自動車博物館、水澤観世音、洞窟観音・徳明園・山徳記念館、ららん藤岡と回りました。紅葉の時期は過ぎていましたが天候にも恵まれ、舞茸の美味しい食事をいただきながら、日本庭園の中を散策しながら、地域の皆さん同士が楽しく交流でき、全員元気に予定通りの時刻で帰着しました。

☆鴨志田スワローズ、まちの美化活動で表彰! ☆

少年野球クラブ・鴨志田スワローズが地域での美化活動が評価されて“青葉まちの美化推進功労者”として昨年11月3日の区民まつりで青葉区より表彰されました。

森豊治代表兼総監督にお話を伺いました。

鴨志田スワローズは、もうすぐ創立40周年を迎えます。

平成10・11年に全国大会で3位、神奈川大会でも数回優勝するなど



少年野球の強豪チームとして知られています。

野球ばかりでなく地域活動にも積極的に取り組んでいます。

練習に利用している多目的運動公園(鴨志田公園)の清掃・美化活動を行っている公園愛護会のメンバーとなり、月1回の清掃活動に参加し今年で7年目になります。

さらに鴨志田町内会の沿道美化活動(年2回)に全員で参加し鴨志田町内会の盆踊り大会や連合町内会のマラソン大会にも参加しています。

これらの活動は野球技術の向上を通じて地域の皆さんに愛される子供達になるために、どのような活動をすればよいか考えて取り組み始めたもので、子供達のみならずご父母の方にも理解していただいています。

今日では子供たちに助け合いの心やまちをきれいにする心が芽生えてきて、地域の皆さんからも礼儀正しく、あいさつができる子供として声を掛けてくれるようになりました。

今回の受賞を糧にして、これからも地域活動に取り組んで子供たちが心身ともに優れた人に育って、この鴨志田の地にもどってきてほしいと願っています。



「11歳になりました」



平成15年12月18日、鴨志田地域ケアプラザは地域の大勢の方にご参加いただき、盛大に開所式を執り行う事が出来ました。当時、法人の他部署に在籍していた私は、お手伝いとして開所式に携わり、その時の『地域の力』『地域の熱気』に触れた経験が、その後の仕事に大きな影響を与えてくれました。

鴨志田地域ケアプラザも、一年一年皆様の身近な存在となり得るよう、努力を重ねてきました。昨年は10周年の節目の年を迎えました。ケアプラザをご利用頂く団体数も、90を超え、お部屋の確保にも皆様全員のご要望にお応えできず、ご不便をおかけしていることもあるかと思いますが、今後も身近な存在として、ご活用ください。

また第10回を数える『ケアプラザフェスタ』(右の写真)には本当にたくさんの方にご来場いただきありがとうございました。



数も種類もたくさん用意したはずの食べ物も、お昼を少し回るころには売り切れが出始め完売する事ができました。ステージ発表や展示、売店など、ここでも地域の皆様に助けをいただき、本当にありがとうございました。

今年はまた新たな1年を歩みだしました。介護保険制度改正などがありますが、身近な地域の保健福祉活動の拠点として、今年もどうぞよろしくお願い致します。

(横浜市鴨志田地域ケアプラザ所長 帆苺 薫)

◇「小学校で認知症の勉強会を開催」◇

認知症については最近では新聞やテレビでもよく扱われるようになりました。

認知症になっても住み慣れた地域で過ごすためには、家族のみならず地域の皆さまの認知症に対しての理解も必要になってきます。ケアプラザでは、認知症への理解を深めるきっかけとして「認知症サポーター養成講座」を開催・出張講座もおこなっていますので是非お声を掛けください。



昨年12月には鴨志田緑小学校の5・6年生(111名)、また事前に先生方にも「認知症サポーター養成講座」を実施する機会を持つ事ができました。

実施にあたっては、認知症キャラバン・メイト、青葉区社会福祉協議会、青葉区役所の皆様のご協力も得られました。5・6年生の講座では寸劇や少人数に分かれてのグループワーク等の内容をおこないました。グループワークでは子供達の色々な意見を聞く事ができ、私達にとって貴重な機会となりました。子ども達にとっても認知症に対して考え始める良い機会になれば幸いと考えております。

誰もが住み慣れた地域で、いつまでも元気で過ごす事が出来る様にケアプラザとしてもいろいろな活動に取り組んでいきますので、今後とも宜しくお願い致します。

(地域包括支援センター 星 理)